

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	入居者ひとりひとりの排尿・排便の間隔や回数、及び、尿とりパット等の使用枚数を把握する事が出来ていない。	ひとりひとりの排泄パターンを知る事が出来る。	時間軸に沿った排泄チェック表に作りかえる。	1ヶ月
2	2	近隣者や民生委員、入居者家族以外との交流の場が少なく、定期的に来所してくれるボランティアがいない。	入居者の交流の場を、広げていく事が出来る。	所内行事を定期的に取り入れる事で、ボランティアに来所してもらう機会をもち、今まで通りに、地域行事にも積極的に参加していく。	3ヶ月
3	4	2ヶ月毎の推進会議の開催が難しい。	同じ家族の参加ばかりではなく、多くの家族に依頼をするとともに、消防団にも参加してもらう事が出来る。	多くの家族や消防団等へ、開催の必要性や意義を伝える事で、積極的に会議に参加してもらう。	6ヶ月
4	6	帰宅願望の強い入居者が多く、徘徊が頻繁である為、玄関に、チェンだけは常にかけてある。	日中、玄関チェンをかけなくても、過ごせる時間を増やしていく事が出来る。	施錠について、スタッフ会議や推進会議で議題に取り上げ、具体的方法を検討する。 日中チェンをしなくても過ごせる時間を設けていく。	12ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。